

和歌山工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	知的財産権	
科目基礎情報							
科目番号		0074		科目区分	一般 / 選択		
授業形態		授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科		環境都市工学科		対象学年	5		
開設期		前期		週時間数	2		
教科書/教材		独占禁止法ガイドブック・必要に応じて資料を配布					
担当教員		後藤 多栄子					
到達目標							
知的財産権の基礎的法体系の修得と事例をまなぶ。特許アイデア創出や出願明細書作成に必要な基本技術を学ぶ。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目 1		知財の基礎を理解して説明することができる。		知財の基礎をおおむね理解して説明することができる。		知財の基礎の理解ができない。また説明ができない。	
評価項目2		知財の事例を理解して説明することができる。		知財の事例をおおむね理解して説明することができる。		知財の事例を理解できないし、説明できない。	
評価項目3		知財のアイデアを考えだし、具現化できる。		知財のアイデアをそれなりに考えて、おおむね具現化できる。		知財のアイデアを考えだせないし、具現化できない。	
評価項目4		特許庁への出願明細書作成ができる。		特許庁への出願明細書作成がおおむねできる。		特許庁への出願明細書作成ができない。	
学科の到達目標項目との関係							
A							
教育方法等							
概要		知財全般の基礎知識を習得することを目的に、独占禁止法を中心に知的財産権のさまざまな事例をとおして、知的財産権の企業戦略を学ぶ。知財全般の知識を深め、特許出願に必要な実践的知識や技術を指導する。					
授業の進め方・方法		独占禁止法を中心に知的財産権のさまざまな事例をとおして、知的財産権の企業戦略を学ぶ。知財全般の知識を深め、特許出願に必要な実践的知識や技術を指導する。時には外部講師(弁理士など) によるセミナー(アイデア創出・PBL)をとおして学生が学ぶ機会がある。					
注意点		COC科目である。2・3回にわたり、和歌山に関する知的財産の具体例を使って知財を学ぶ。					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	概要説明 市場と競争		市場における競争の役割を理解できる。		
		2週	不正行為と企業倫理		企業の倫理について理解できる。民法の不正行為のみならず他の法律による規制を理解できる。		
		3週	不正競争防止法		不正競争防止法が規制する行為を分類別に理解できる。ノウハウに関する規制を理解し説明ができる。		
		4週	経済憲法としての独占禁止法		競争と独占禁止法とかかわりが理解できる。		
		5週	独禁法が規制する3条前段の私的独占		私的独占の事例を理解でき、事例を説明できる。		
		6週	3条後段のカルテルや談合		3条後段のカルテルや談合の事例を理解でき、事例を使って説明ができる。		
		7週	独禁法が規制する19条の不正な取引方法 *地(知)の拠点* 和歌山県に関する事例研究		独禁法が規制する19条の不正な取引方法の事例を理解できる。*和歌山県に関する事例研究を行い、論点を理解する。		
		8週	独禁法の適用除外となっている知的財産に関する21条		独禁法の適用除外となっている知的財産に関する21条を理解できる。		
	2ndQ	9週	商標法・地域団体商標 *地(知)の拠点*		商標法体系を理解できる。*地(知)の拠点* 地域団体商標の制度理解して和歌山県における事例を調査・加えて和歌山県の企業の商標の調査して、課題提出する。		
		10週	意匠法 *地(知)の拠点*		*地(知)の拠点*意匠法体系を理解できる。和歌山の企業の意匠を調査し課題提出する。		
		11週	特許法 *地(知)の拠点* パテント検索そして明細書の書き方		*地(知)の拠点*特許法基礎を理解できる。和歌山県関連や本校の教員の所有する特許検索をJ-Plat-Pat(特許庁のデータベース)を利用して調査し課題を提出する。明細書の書き方を学び書けるようになる。		
		12週	発明アイデアの創出方法 (ブレインストーミングなど)		発明アイデアの創出方法を使用してアイデアを創出できる。		
		13週	著作権法		著作権体系を理解できる。著作物の理解、著作権者の理解ができ、実例で説明できる。		
		14週	著作権法		著作権体系を理解できる。著作権者が持つ著作権の種類を理解し、その説明ができる。また、適用除外を理解し、説明ができる。		
		15週	期末試験		期末試験		
		16週	試験返却・解説		試験返却・解説		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
分野横断的能力	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	法令やルールを遵守した行動をとれる。		3	
評価割合							
		試験		課題ほか		合計	
総合評価割合		50		50		100	

評価	50	50	100
----	----	----	-----